

3B病棟のご紹介

3B病棟は、整形外科・脳神経外科を中心とした病棟で、おもに脊椎系の疾患や四肢・ひざの疾患、脳卒中の急性期の患者さんが多く入院されています。また、ご高齢の方から幼児期の患者さんと年齢層も幅が広い病棟です。



当病棟では、手術前から術後、リハビリテーションを通じて退院される方が多く、医師や看護師をはじめ、理学療法士や栄養士そして退院支援部など多くのスタッフが協力し、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう心がけています。

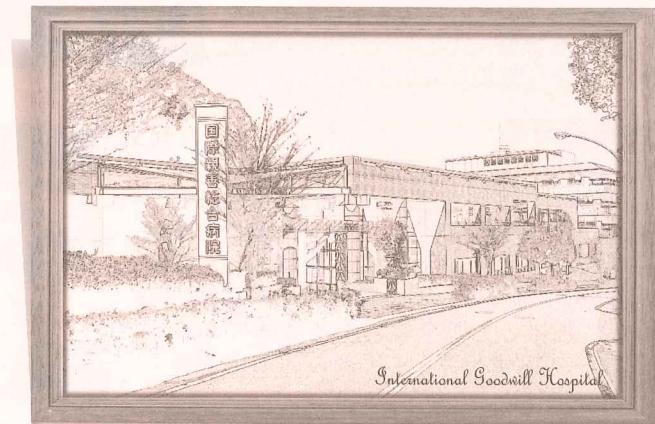
3B病棟のスタッフの一番の喜びは、患者さんの回復と一緒に喜べることです。手術後間もない中、車椅子に乗車ができたり、歩行器や杖を使って安定した歩行が出来るようになったり、食事が出来るようになったり・・・。笑顔で退院されて行かれる患者さんを見ると、とてもうれしい気持ちになります。回復までには、患者さんやご家族の方は、たくさんの不安を持たれています。その不安を少しでも軽くできるように、入院生活を支えたいと思います。私たちは日々、患者さんの回復を目の当たりにする喜びがあります。



そして、そのような患者さんからたくさんのお「元気パワー」を頂いています。これからも患者さんやご家族の方々と一緒に頑張れる病棟でありたいと思います。

3B病棟看護課長 山本 幸江

病院だより



当院の出来事

胃がん・大腸がんの早期発見・早期治療 Satoshi Ino
猪 聰志

3B病棟のご紹介 Yukie Yamamoto
山本 幸江

国際親善総合病院

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1
TEL 045(813)0221(代表)
FAX 045(813)7419(総務課)

国際親善総合病院看護部
モバイルサイト

[URL http://shinzen.jp](http://shinzen.jp)



病院だより

春夏 当院の出来事 秋 冬

防災対策訓練実施

11月7日(水)、今回は3B病棟からの出火を想定して、初期消火、通報、避難誘導の訓練を実施しました。講評では、横浜市泉消防署予防課長 宇野登志子様より訓練に対するご指摘、そして普段から防災の意識を持つことの大切さを教えていただきました。今後も職員一丸となって防災の徹底と促進を行い、安全に努めて参ります。



医療安全推進月間

当院では、11月を医療安全推進月間としています。医療においては常に安全を心掛けておりますが、特にこの期間を重点的に現場を見直し、安全に関する意識を高め、さらに改善を図っていくことを目的としています。さらに医療は患者さんと医療者の信頼関係のもとにパートナーシップで進めるものと考えております。わからぬことがありますましたらいつでもお尋ね下さい。



外来アンケート調査実施

患者サービスと療養環境の改善を目的とし、10月29日(月)から31日(水)の3日間にかけて外来患者さん（1日約200名を対象）にご協力いただき外来アンケート調査を実施しました。なお、調査結果及びご意見から明らかになった課題につきましては、サービス質向上委員会を中心に改善を図っていきます。

女子バレーボール部 3位入賞!!

9月9日(日)第44回神奈川県病院協会主催の女子バレーボール大会が聖マリアンナ医科大学病院（川崎市宮前区）体育館にて開催されました。大会出場12チーム中にて熱い戦いが繰り広げられ、当院は3位に入賞することができました。

健康懇話会

胃がん・大腸がんの

早期発見・早期治療

厚生労働省の死因統計によれば、日本人の死因の1位はがんです。およそ3人に1人が、がんで亡くなっています。その中でも消化器がんの占める割合は高く、大腸がんは男性では3位、女性では1位で、近年増加し今後も増加が予想されます。胃がんは男性では2位、女性では3位を占めています。

医療技術の進歩により、早期発見が可能となり、早期発見であれば治療によりほぼ確実に治癒できるようになっています。一方で発見が遅れたためにできる治療に限界があり、治療効果にも限界があることがあります。また、病気による症状やその治療による副作用のため程度の差はありますが、少なからず生活の質が低下します。できるだけ生活の質を落とさずに元気なまま、病気を克服できるのがよいのではないでしょうか。症状がなくごく早期のうちに発見し治療して3日から1週間程度で仕事に復帰される方もいれば、長い闘病生活をされる方もいます。『早期発見・早期治療』がいかに重要なことを日々の診療で痛感しています。

胃がん、大腸がんの早期発見・早期治療をめざして、がん検診から精査目的の内視鏡検査・治療についてご紹介したいと思います。

消化器内科医長 猪 聰志

このテーマは

平成24年12月14日(金) 15:00から約1時間

の健康懇話会にて講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)

早い発見

ほぼ確実に治癒

その後のすべてが大違い

遅い発見

治療に限界が